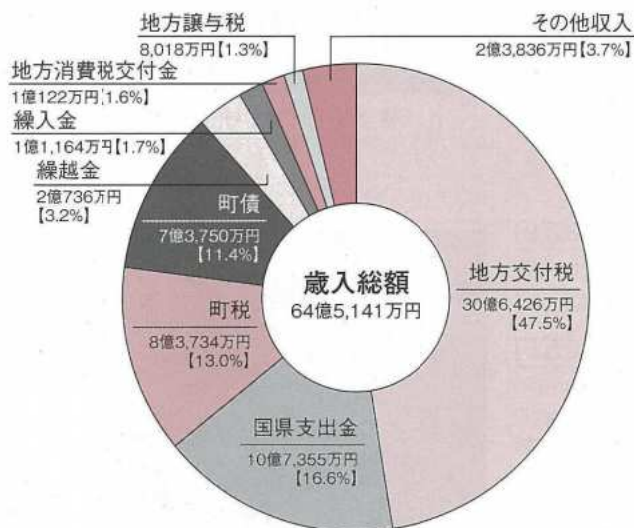


一般会計

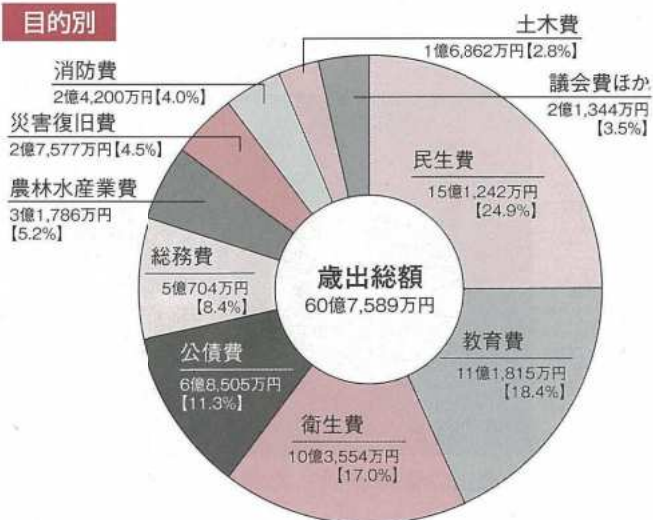
町会計の中心である一般会計は、歳入が64億5,141万円、歳出が60億7,589万円で、差引3億7,552万円の黒字決算となりました。前年度と比較すると、小中一貫校建設事業費の減少などにより、歳入は4億1,005万円、歳出は4億1,221万円減少しました。

歳入 64億5,141万円（対前年度比6.0%減）

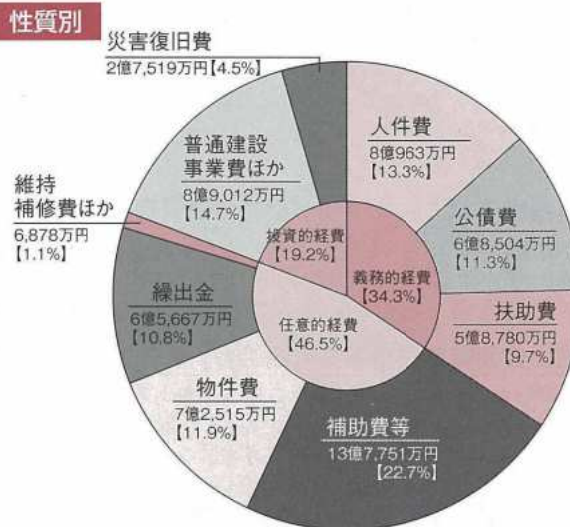


歳出 60億7,589万円（対前年度比6.4%減）

目的別



性質別



平成24年度 決算の概要

平成24年度における三戸町の一般会計と7つの特別会計の決算（平成24年4月1日から平成25年3月31日までの1年間の収入と支出の実績）が、町議会9月定例会において認定されました。町民の皆さんや事業所などから

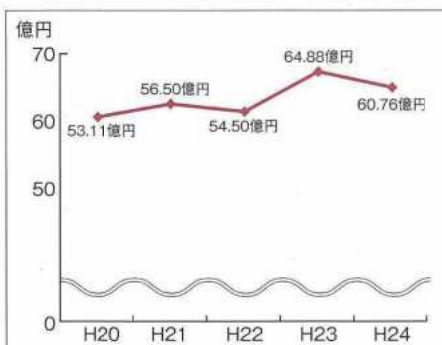
納めていただいた税金や、国、県からの交付金などを元に、昨年度はどのような事業を実施したのか、その概要についてお知らせします。

また、地方公共団体の財政の健全化に関する法律（財政健全化法）に基づき算定した、平成24年度決算に基づく健全化判断比率、資金不足比率を公表します。

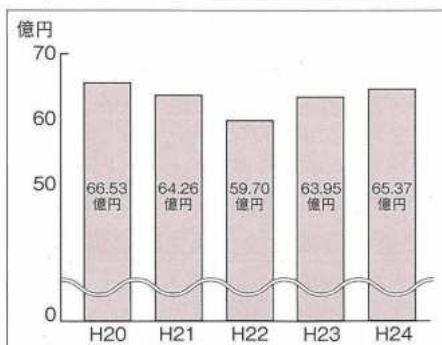
一般会計歳出決算額を直近5年間で比較すると、平成24年度は、小中一貫校の用地を取得した平成23年度に次ぐ規模となりました。

一般会計町債残高は、小中一貫校の建設が本格的に始まった平成23年度から増加し、平成24年度末残高は65.37億円となりました。

一般会計歳出決算額



一般会計町債残高



○快適で住みよい明るいまちづくり

災害復旧事業【災害復旧費】

2億6,647万円

平成23年9月発生の台風15号により被災した、農地39ヵ所、農業用施設11ヵ所、道路19ヵ所、河川2ヵ所の復旧工事を実施しました。また、平成24年3月に発生した凍上災害の復旧のため、道路20路線32ヵ所の測量設計を実施しました。

災害対策事業【消防費】

277万円

災害等の非常時に備え、三戸町地域防災計画で定める事前指定避難所7ヵ所に可搬式非常用発電機を整備しました。また、毛布や非常食などの避難所用備蓄品も購入しました。

町営住宅長寿命化計画策定事業【土木費】

273万円

町内12団地235戸の町営住宅の状態を把握し、今後における団地別・住棟別の適切な修繕や改善等の維持管理について見通しを立てるため、町営住宅長寿命化計画を策定しました。

○仕事でにぎわう楽しいまちづくり

青年就農給付金事業【農林水産業費】

1,212万円

町の農業を担う意欲ある若手農業者を支援するため、就農直後で経営が不安定な新規就農者6人と1夫婦を対象に支援金を給付しました。

11ぴきのねこによるまちづくり事業【総務費・民生費・商工費】

892万円

「11ぴきのねこのまち」を町内外にPRするため、城山公園の入り口や国道沿いへの観光案内板の設置、馬場のぼる氏の絵本作品に登場するキャラクターパネルの作成、11ぴきのねこをデザインした原動機付自転車のナンバープレートの作成などを実施しました。

農村振興基本計画策定事業【農林水産業費】

662万円

県営事業により農業生産基盤や農村生活環境等の一体的な整備を実施していくため、新たな農村振興基本計画を策定しました。

○笑顔で、健康で元気に暮らせるまちづくり

パークゴルフ場整備事業【土木費】

1,749万円

町民の皆さんの健康増進や観光の発展のため、道の駅さんのへの近接地に整備するパークゴルフ場の基本計画を策定し、用地の測量や鑑定などを実施しました。

要援護者みまもりマップ整備事業【民生費】

500万円

高齢者のみの世帯や障害者など、援護を必要としている方を日頃から支援し、また緊急時にも即座に対応できる体制を強化するため、所在をマップ化して一覧で把握できるシステムを導入しました。

城山公園遊具設置事業【商工費】

421万円

子どもたちが外で元気に遊べる環境を整えるため、城山公園イベント広場に幼児向けの複合遊具を新たに1基設置しました。またこれまでの遊具についても、快適に遊べるよう塗装などを行いました。

○生きる力にあふれた学びのまちづくり

小中一貫校建設事業【教育費】

6億5,683万円

既存校舎の大規模改造工事、仮駐車場の整備工事、体育館や武道場の実施設計などを主に実施しました。また、平成25年4月の開校に向けて、校舎備品を一括して整備しました。

小中一貫教育推進事業【教育費】

161万円

小中一貫教育推進の目的の1つである中1ギャップ解消のため、小学6年生を対象に中学校入学前ガイダンスを実施しました。また、児童生徒の生活習慣の乱れを防ぐための「睡眠チェック事業」や、勉強の仕方や計画の立て方を学ぶ「学習コーチ事業」などを実施しました。

小惑星「関根の松」誕生記念講演会事業【総務費】

44万円

宇宙の小惑星の1つが「関根の松」と命名されたことを受け、発見者である小惑星ハンターの渡辺和郎氏と、財団法人日本宇宙フォーラム参与の寺門邦次氏による記念講演会を開催しました。

おもな取り組み



凍上災害によりひび割れた町道



11ぴきのねこデザインに一新した町の標柱



城山公園に新設した幼児向けの複合遊具



町に寄贈された小惑星「関根の松」の登録証

特別会計

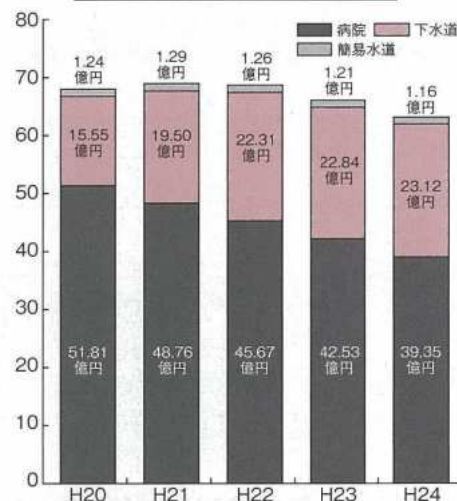
三戸中央病院の収益的収支は、一般会計からの繰入金の増額などにより、収入が18億4,040万円、支出が16億8,529万円で、差引1億5,511万円の当期純利益となりました。

介護保険特別会計は、歳入が17億5,989万円（対前年比108.6%）、歳出が17億1,917万円（対前年比107.3%）で、歳入・歳出共に約1億円増加しました。

特別会計の町債について、下水道事業の残高は増加しているものの、病院会計と簡易水道会計においては新規発行町債がなかったため、残高は減少しています。

会計名		収入額	支出額	差引
病 院	収益	18億4,040万円	16億8,529万円	1億5,511万円
	資本	1億1,658万円	3億2,160万円	△2億502万円
介 護 保 険		17億5,989万円	17億1,917万円	4,072万円
国民健康保険		17億3,720万円	16億5,762万円	7,958万円
下 水 道		1億8,405万円	1億7,159万円	1,246万円
後期高齢者医療		1億1,786万円	1億1,621万円	165万円
学 校 給 食		4,411万円	4,376万円	35万円
簡 易 水 道		2,569万円	1,939万円	630万円

特別会計町債残高



財政健全化比率

財政健全化法は、「早期健全化基準」と「財政再生基準」という2段階の判断基準を定めるとともに、公営企業については「経営健全化基準」を設け、財政状況をチェックして地方公共団体の財政破綻を未然に防ごうとするものです。平成24年度決算に基づき健全化判断比率を算定したところ、いずれの比率についても基準を下回る結果となりました。また公営企業会計における資金不足比率についても、全会計において資金不足額はありませんでした。

健全化判断比率

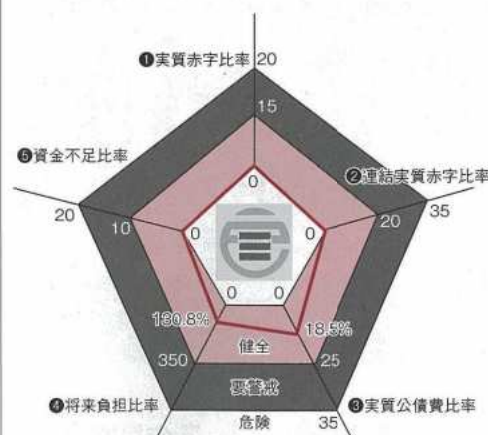
	平成24年度 決 算	平成23年度 決 算	平成22年度 決 算	早期健全化基準 財政再生基準
実 質 赤 字 比 率	—	—	—	15.00 % 20.00 %
連 結 実 質 赤 字 比 率	—	—	—	20.00 % 30.00 %
実 公 債 費 比 率	16.8 %	18.5 %	19.5 %	25.0 % 35.0 %
将 来 負 担 比 率	123.2 %	130.8 %	137.7 %	350.0 %

資金不足比率

	平成24年度 決 算	平成23年度 決 算	平成22年度 決 算	経営健全化 基 準
病 院 会 計	—	—	—	20.0 %
簡 易 水 道 会 計	—	—	—	
下 水 道 会 計	—	—	—	

*「—」は、実質赤字額・資金不足額がないことを表しています。

財政の健全度を示す5つの指標



財政健全化比率について

実質赤字比率

福祉、教育、町づくりなど、どの団体でも普遍的に行う事業をまとめた「一般会計」の赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示すものです。

連結実質赤字比率

全ての会計の赤字や黒字を合算（連結）し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化して、地方公共団体全体の財政運営の深刻度を示すものです。

実質公債費比率

借入金の返済額及びこれに準ずる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示すものです。

将来負担比率

一般会計の借入金や将来支払う可能性のある負担などの程度を指標化して、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

資金不足比率

公営企業の資金不足を、事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。